

自然科学入門講座 I

令和4年6月23日(木)3,4限に理数科1年生を対象に、本校公孫樹会館研修室において、岡山理科大学理学部動物学科より小林秀司先生を講師としてお招きして、令和4年度 自然科学入門講座I(フィールドワーク講演会)が開催されました。

目的：理数科1年生の蒜山研修に向けて、自然科学研究の研究手法の1つであるフィールドワークについての講演を行い、自然科学探究に係る意欲の高揚と、態度の育成を図る。

先生のご専門であるヌートリアを通して、自分がその動物だったらどのような行動をとるだろうかという視点で、実際の調査の仕方、調査中の風景等、興味深い内容をご講義くださいました。



【生徒の感想】

- ・講演をしてくださった先生からは、ヌートリアの話になると止まらないほどの、ヌートリアへの愛を感じたので、研究をしているとその動物に愛着がわいてくるんだろうなと思った。今回教えていただいたフィールドワークでの注意点や心構えを心に留め、これからたくさん研究していきたいと思う。1つのことに対してとても情熱的になれるようなものを自分も見つけないかと思った。蒜山研修が楽しみ。
- ・実際にフィールドワークを行い、ヌートリアについて研究されている先生の話聞いて、生物全体ではなく、ヌートリアを調べただけでも多くのことが分かるのだと知りました。自分もたくさんのが発見できるように、フィールドワークを行うときには、足跡や食痕をたくさん見つけていきたいと思いました。
- ・この講演を聴いて具体的な動物の研究や、疑問の作り方なども理解できた。これを機に自分でも仮説や疑問を立てて研究してみたいと思ったし、実際にアニマルトラップ法を使って、フィールドワークをしてみようと思います。
- ・ヌートリアの生物の中でも特殊な生態が分かった。身近な場所を見て回るのもフィールドワークで、動物の気持ちになって考えることが必要だと分かった。自分が気になったことは、ネットで調べ糞呑みにするのではなく、自分で実際に調べることが大事だと感じた。自分に身近なところからフィールドワークをしてみたい。